「中学生の主張 ㏌ かながわ」 作文　下書きワークシート

(参考)

一　　テーマ

* 作文のテーマは自由です。家庭や学校、地域での日常の出来事、社会や世界の話題、心に残っている言葉などについて考えてみましょう。

二　　最も伝えたいこと

* 中学生の「主張」のコンクールなので、あなたの意見が一番大切。

作文を通して、希望や提案を示しましょう。

三　　材料

* 関連する話題をできる限りたくさん集めます。他者の事例や意見、過去の気持ち、あるいは調べたことなど、テーマについていろいろな立場から見つめてみましょう。



・

・

・

四　　下書き①　（作文の流れ）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| おわり | なか② | なか① | はじめ |
| 「二」のもっとも伝えたいことをゴールにしましょう。 | 「なか①」とは異なる材料で広げます。この話題選びが個性になりますが、「おわり」に繋がることも大切です。 | テーマについて、流れを展開していきます。 | 印象的な書き出しで、読みたい＆聞きたい作文に。 |
|  |  |  |  |

* 「三」の材料を四～五つ程度選択し、「二」の伝えたいことに繋がっていく流れを作ります。

材料を入れ替えながら、効果的な展開を考えましょう。

* はじめ→なか→おわりの展開を維持しつつ、「なか」の話題の数は増やしても構いません。

また、「なか②」の内容次第では「起→承→転→結」の構成にも。わかりやすく工夫してみましょう。

五　　下書き②　（展開の確認）

* はじめ、なか①、なか②を、それぞれ二百字程度で文章にしてみます。

このとき、展開に応じて「しかし」などの接続詞を意識するとよいでしょう。

六　　下書き③　（推敲）

* 「五」を修正したりふくらませたりして、実際の字数を目指して書き上げます。

形式段落は少なくとも四段落で、読みやすくなるようなら増やしましょう。

文体が変わってしまわないように、なるべく一気に書いていきます。

* 書き上げたら音読してみて、長すぎる文や不自然な箇所を整えます。

メ　モ　…🖊

「走れメロス」の著者、太宰治は、小説を書く際に題名、書き出し、結末を重視していました。清書の前には暗唱できていたほど、推敲に力を入れていたのだとか。

作文も同じく、題名、書き出し、結末にこだわって、声に出すことで磨かれていきますよ。

この段階で誰かにチェックしてもらうのもいいですね。

七　　清書

* 表現や比喩の工夫も加え、いよいよ清書です。

八　　題名付け

* 題名を付けます。力尽きず、こだわりきって完成です！

